

# 宮谷理香、この“調べ高い”ピアニスト

濱田 滋郎(音楽評論家)

宮谷理香のことを私が「素晴らしいピアニストだ」と心から思ったのは、彼女がかつて10回にわたる「ショパン作品連続演奏会」を催したさい、その終り頃に弾いたショパンの〈ソナタ第3番〉を聴きながらであった。“ピアノの詩人”が文字どおり心の丈を傾けた旋律を彼女が奏するとき、旋律はそのままホールから脱け出して天空に達し、星々のほさまを果てしなく流れて行くように、私には思われた。つまりそれだけ、宮谷理香は“調べの高い”音楽を奏でたのである。

その後、実演よりもむしろレコーディングを通じて宮谷理香を聴いてきたが、ショパンのみならずどのようなレパートリーを手がけても、彼女の演奏に伴う「調べの高さ」が、私という聴きての心の琴線に触れて来ることに変りはなかった。それはタッチすなわち音色の美しさから来るのか、歌いくちの佳さからか、あるいは彼女が旋律なり和声なりを表現するときの、微妙な「間」の感覚から来るのか。とにかく、宮谷理香は、楽曲の美しさを、あるいはその美を前にしての己の感動を人に伝えるとき、けっして説明的は散文体ではピアノを弾かず、詩的な韻文体でのみ奏でるピアニストなのではあるまいか。言い換えれば、学識や理屈よりも、詩的感受性に導かれて彼女は奏でる。そのことが「調べの高さ」を生むのだ、と私は思う。

CD「音楽の玉手箱Vol.1」ライナーノーツより



©Akira Muto

## 宮谷 理香 (ピアノ) Rika Miyatani, Piano

金沢市生まれ。桐朋学園大学卒業、同研究科修了。1995年第13回ショパン国際ピアノコンクール第5位入賞、一躍注目を集める。入賞者ガラコンサートツアーで各地(台湾、福岡、長崎、佐賀、熊本、広島、徳山、静岡、名古屋、東京3か所、川口、札幌2か所)で演奏。翌96年サントリーホール(東京)、いずみホール(大阪)他、各地(神戸、福山、広島、福岡、金沢、高松、宇部、長崎、久留米、鹿児島、ワルシャワ フィルハーモニーホール、パリ サルブレイエール、ポーランド図書館)にてデビュー。松岡貞子、アンジェイ・ヤシンスキ、ピオトル・パレチニ、ハリーナ=チェルニー=ステファンスカ、園田高弘各氏に師事。第23回日本ショパン協会賞、第9回飛騨古川音楽大賞新人賞、平成27年度石川県文化奨励賞、他受賞。

これまでにパリのサル・ブレイエール(サル・ショパン)をはじめ、ウィーンのグラフェネック城、ポーランドのワルシャワ フィルハーモニーホール、チェコのノヴェ・メストなどでのリサイタル開催のほか、ドゥシニキ国際ショパンフェスティバル、99年ポーランドでのショパン没後150年演奏会(ワルシャワ、ウッチ、ルブリン、チェンストホヴァ、カトヴィツェ)、02年国際交流基金の派遣による演奏会(ワルシャワ、クラコフ、マドリッド、アランフェス、ヴェンドレル、バルセロナ)、中国の蘇州における日中友好コンサート等にも招待されている。

01年、04年、09年ライブツィヒ弦楽四重奏団、10年スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団(L.スワロフスキー指揮)と共演。

ショパン作品を中心に様々な作曲家を取り上げたりタイトル・シリーズ「宮谷理香と廻るショパンの旅(2001-2010年)」を10年に亘り開催、大きな反響を呼ぶ。2011年と2017年には日生劇場のファミリーフェスティバル「アリスのおんがく旅行」へショパン役で出演。2005-2013年には「こころを耕す～宮谷理香のふるさと学校訪問」を実施、石川県内100校の小中学校(延べ4万人)にコンサートを届け続けた。高橋多佳子とのピアノデュオ「Duo Grace」や「アンサンブルφ(ファイ)」等室内楽にも積極的に取り組むなど、幅広く多彩な活動を展開。

08年初の著書「理香りんのおじゃまします!～ピアニスト万華鏡」発売、16年には同書改訂版が発売された。ほか全17枚のCDを発表、その多くがレコード芸術特選盤。現在、「ショパン名曲CDシリーズ(全5タイトル)」、「Fantaisieシリーズ(全3タイトル)」、「音楽の玉手箱シリーズ(全2タイトル)」を展開中。

日本ショパン協会主催ショパンコンクール、いしかわ国際ピアノコンクール、ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会審査員を務める。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。2017年春より「音楽の友」及び「ムジカノーヴァ」各誌にて連載。

常に新しい企画を発信し続けており、緻密な楽曲構成と色彩豊かな表現で、心に迫る演奏が熱い支持を集めている。

HP <http://www.miyatani.jp/rika/>

BLOG <http://rikamiyatani.blog.fc2.com/>

FB <http://www.facebook.com/rikamiyataniofficial/>

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする  
**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

宗次ホール

くらしの中にクラシック

宗次ホール  
Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00～16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)